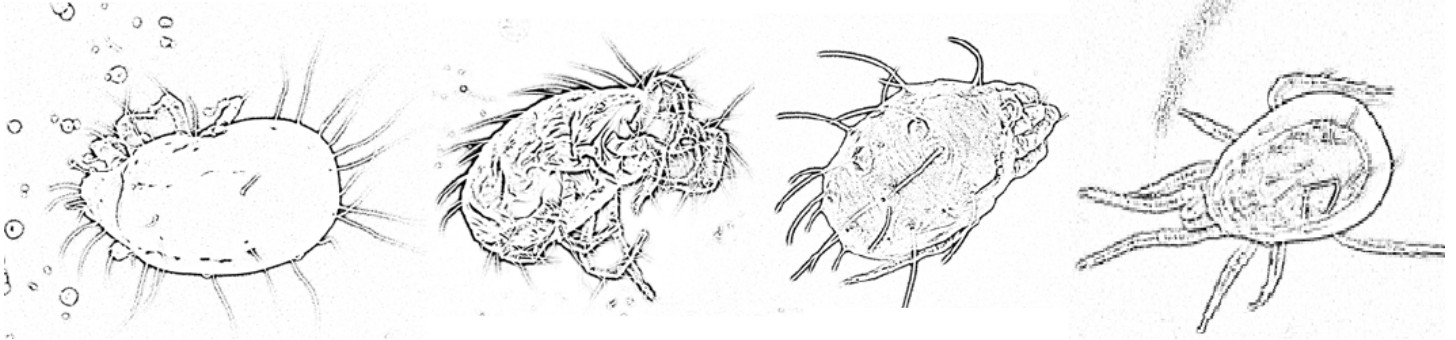




ICA2014 Special Program

THURSDAY JULY 17
EVENING @TERRSA Hall



My Favorite Acari

Share Your Passion

「生命現象を解明したい」「新種を発見したい」「農業を発展させたい」「ヒトの健康を守りたい」などなど、様々なモチベーションをエンジンとしながらも、共通して「ダニ」を材料に、日夜研究に励むダニ学者たち。

そんなダニ学者たちが、4年に1度、世界中から集まる「国際ダニ学会議」。言わば、ダニ学者たちのオリンピック「ダニリンピック」。

ちょっと待って。なぜ、「ダニ」？！

もちろん、その理由には上記のようなモチベーションが挙げられる。

でも待って。もっと深く考えてみよう。なぜ、「ダニ」？！

それは、「好き」だから。これに尽きるのではないだろうか。そう、ダニリンピックはAcari-loverの集まりなのだ。

緻密な研究計画のもとに進められた実験、そしてその成果を論理的な技法で紹介していくプレゼンテーションは非常に魅力的だ。理解の快感は聴衆をハッピーにする。でも理解はしばしば一時的で、会場を出ると忘れてしまうことも多々ある。

特に今大会の開催場所は京都。会場外には千年の歴史に育まれた非日常的な異空間が広がる。我々日本人でも訪れる度、「ステキ」「カッコイイ」「なんじゃこれ」といった発見があり、それらは記憶に残る。しかし、そのような印象を言語化して論理的に説明することは極めて困難である。つまり、非言語的印象こそ、ヒトの脳裏にジュッと焼き付くのだ。

そして、それが良い印象であればあるほど、「好き」という感情に移行する。ここで、試しに検索エンジンGoogleで、「Kyoto-lover」を検索してみたところ、約2,180件もヒットした。Web上だけでも、多くの人が京都を愛していることがわかる。

ダニの話に戻ろう。同様に「Acari-lover」を検索してみる。3件・・・切ない。ちなみに、「Insect-lover」は約16,100件（！）。同じ節足動物なのに、京都越え。ヒット件数だけで判断することは多少乱暴かもしれないが、少なくとも Lover 数は、「Acari」 < 「Kyoto」 < 「Insect」である可能性が高い。

我々 Acari-lover は、この事実を深く受け止め、もっとダニの魅力を世界に広く発信していくべきである。その際、普段我々がダニに対して感じているものの、通常のプレゼンテーションでは論理展開の阻害になるため省いてしまう「ステキ」「カッコイイ」「なんじゃこれ」といったアツイ想いを伝えることこそ、Acari-loverを増やす最も有効なツールになると考えた。

そこで本企画は、そのプロトタイプ実験として、何人かの Acari-lover が自らの研究対象のダニへのアツイ想いを、ヒトの感覚を刺激する「非言語的な手法」を駆使して、大いに吐露する場を提供したい。これによって、まず Acari-lover 間での共感が生まれ、今度はその共感を各々が世界各地で発信していけば、「ダニが沸く」がごとく、Acari-lover が爆発的に増加するに違いない。これこそ、将来のダニ学の発展への大きな布石となるのではないだろうか。

本企画および本大会を通して、Acari-lover かつ Kyoto-lover が増加することを期待したい。
連絡先：鈴木丈詞 (tsuzuki2@uwo.ca)